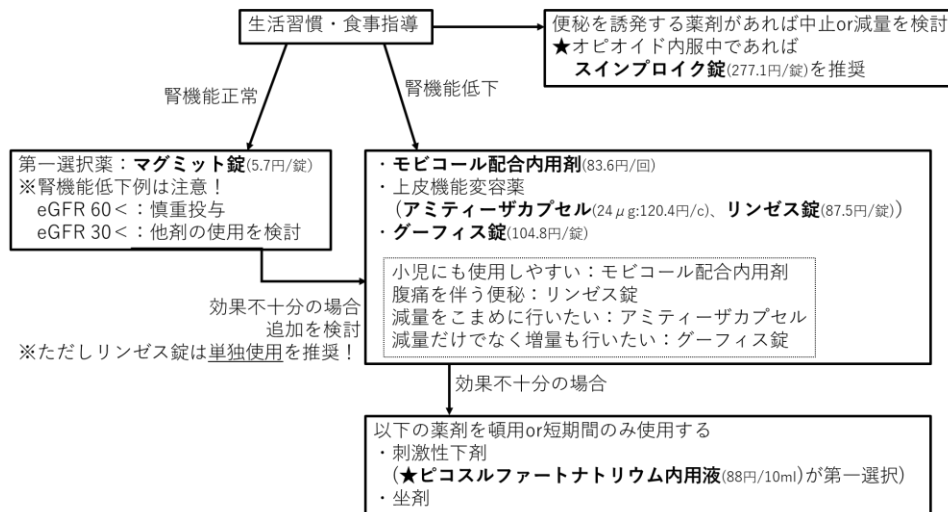




がん療養における便秘対策について

緩和ケアチーム 薬剤師 平富 彩佳

医療用麻薬を定期的に服用している患者さんの約80%の方が、副作用である便秘を軽減し、耐性も形成しにくく、継続的な排便調整が必要となります。また、他の薬剤（抗がん剤等）の投与の副作用や病状に関連して便秘が起こることがあります。このように、がん療養における排便調整は非常に重要であり、QOL向上にも影響します。そこで、今回、がんの療養における便秘対策のための薬剤の選択についてご紹介いたします。



*参考『日本内科学会 第108巻 第1号』座談会「便秘症の治療の実際-治療フローチャートはどうあるべきか? -」



“経口栄養補助食”の試飲会を開催しました

緩和ケアチーム 管理栄養士 山下 桜

PCTのカンファレンス内で、実際に給食で提供している経口栄養補助食の試飲会を行いました。

はじめて試飲したPCTメンバーも多く、「“メイバランス”のヨーグルトやコーンスープは、市販の飲むヨーグルトやコーンスープと似た味がして意外と飲みやすいから、甘すぎるのが苦手な患者さんにはおすすめしやすい」など様々な反応がありました。どのような栄養剤が提供されているかを知る良い機会になったかと思います。

今後も緩和ケアチームで患者さんの栄養状態改善に努めたいと思います。



4月よりPCTの一員となりました管理栄養士の山下です。患者さんが少しでも食べやすく、栄養状態の維持・改善につながるように関わっていきたいと思います。

今年度からPCTで食事調整を行った方は、**個別栄養食事管理加算**

(70点/回)

を算定しています。食事量変更や栄養剤付加等でスタッフへ声をかけることがありますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

緩和ケアチームメンバーによる / 1冊



今号の紹介者

精神科 大橋 綾子 先生



『ユマニチュード入門』

著者：本田 美和子/イヴ・ジネスト/
ロゼット・マレスコッティ
出版：医学書院

病院では、脳の病気で、昏睡・認知症・せん妄などで、スムーズにお話ができない方に接する機会が多いと思います。そんな時に、ユマニチュードの方法は本当に役に立ちます。正面から目を合わせる、挨拶をする、などの普段のちょっとした行動にユマニチュードの技術をプラスすると、相手が安心して、笑顔になってくださるのがよくわかります。優しさを伝えるには技術が要ります。安定剤よりも効果的です。劇的に役立ちますよ。